

令和7年度(2025年)春季知財経営研究会ご案内 ～知財パラダイムシフト2025春季～

下記の通り定例研究会を実施します。奮ってご参加ください。

開催日時:2025年4月25日(金)14時10分～15時40分

開催方式:リアル(協会事務所) & バーチャル(Skype)

リアル参加定員10名(先着順)

Skype URL <https://join.skype.com/qeeHfL1Dvcbc>

申し込み:協会HPお問い合わせ欄から4月23日(水)までに、
メールで申し込み(参加者代表と参加人数)、
参加は無料、だれでも申し込み可能(公開講座)、
但し、協会申し込み手続きなしの参加は認めない。

議題:『**世界初の知財ブランドモデルと新サービス**』理事長説明と討議

*参加者には事前に資料送付予定

知財の収益化(知財ブランドモデル)

◎知識経済社会では知財(無形資産)の収益化こそが最重要。事業と一体運用し、世界中(WTO加盟164ヶ国)で保護活用可能な世界初知財ブランドモデルを新サービスにより提供。

◎内閣府知財立国推進事務局の『知財投資活用ガイドライン』

- ・日本は、先進諸国に比べて知財、無形資産投資と活用に大きな遅れ。
- ・知財を事業と一体で捉える ⇒協会先行のミッション・モデルと合致。
- ・出願知財だけではなく社外秘情報も知財と捉えてこの創造、蓄積、保護、活用を促進すべき ⇒協会先行のミッション・モデルと合致。
- ・しかし、このガイドラインは具体策がなく、依然としてPDCAは回らない。

◎知財ブランドモデル(SIRモデル)

- ・世界初の知財(IP)コードを事業商品と一体化して公開周知し、知財使用商品(知財使用事業)として知財利益を稼ぐと共に、世界中にライセンス活用して知財収益を稼ぐ世界初のモデル。
- ・知財(IP)コード(QRコード+知財登録番号)を知財表記商品やパンフレット等に表示することで、ニセモノ対策、商品流通把握、国民の知財意識の向上(知財立国構想の重点政策)等を図る。

協会新サービスの紹介

◎世界中で保護活用ができる最高の知財サービス提供
～出願知財はほぼ不要、コスパ最高のサービス提供～

◎知財バンク(IPB)

知財本体付き知財登録情報をクラウド上に暗号化して格納保存
いつでも自動復号により内容確認や新規追加、削除が可能。
公証役場への預け入れと比べて格段に利便性等が高い。
より強固な会員ログインパスワード(8～12桁)の再設定が可能。

◎知財追跡(IPT)

市場で知財コードの読み取りがあると、その日時や場所を特定し
商品追跡、ニセモノ発見、マーケティング等に活用が可能。

◎知財登録認証表示(IPD)

スマホ等に知財登録認証表紙情報を表示させる。

*2025年度(令和7年度)は、新システムの試行テスト期間とする。